

## 大正時代の医院

大正4年に発行された「中島案内」では当時、中島で開業していた医院は次のように記載されている。この3つの医院について紹介する。

上町 村山醫院 村山 良平  
上町 江東醫院 志賀 市三郎  
本町 光揺眼科院 鍋田 駿哉

### ・村山醫院（村山医院）

〔所在地〕 愛知県岡崎市中島中町 4-1-1

〔診療科〕 内科/循環器科/小児科

〔開業年〕 1760（宝暦10）年頃

村山医院は医家8代、300年にわたる旧家である。村山家の過去帳によれば、祖先は源頼光4世の孫、源出羽守義隆で近江国大津にいたが、3代の康正が1220（承久2）年出羽国に移り、村山姓を名乗った。12代の後裔、義長は1390（明德元）年、紀州田辺の城下に移り、さらに、1393（明德3）年三河に移って庶民となった。それより、350年を経て、村山義久が「全庵」と号して医術を研究し医師となった。義久は1721（享保6）年に生まれ、1782（天明2）年に亡くなっている。医家としての村山家初代である。



村山医院 20150902



村山医院 陣屋の門

村山医院  
昭和25年頃  
8代 憲

その後、義英（2代、1749年～1819年）、義則（3代、1789年～1859年）、義次（4代、1819年～1869年）、民次郎（5代、1846年～1917年）と続いた。村山民次郎氏は「龍甫」と号し、下中島村（現在の中島町）の旧陣屋跡を改築して開業したが、その後、元屋敷の上中島村に移転した。大正時代には、陣屋の門の一部が村山醫院に残存していた。さらに、良平（6代、1888年～1925年）、邦夫（7代、1921年～）と続き現在は、8代目の村山憲氏である。憲氏は岡崎市医師会会長を務める。

#### ・江東醫院（志賀医院）

〔所在地〕 岡崎市中島町字薬師 23

〔診療科〕 内科・小児科・消化器内科

〔開業年〕 1897（明治30）年

江東醫院の開業者である志賀市三郎氏は1862（文久2）年の12月、碧海郡六ツ美村大字下青野に生まれた。長じて鷺塚（現在の碧南市鷺塚）の「洋々医館」、近藤坦平の主宰する「蜜蜂義塾」にて西洋医学を学んだ。1890（明治23）年京都にて医術開業試験に合格し、同年から「洋々医館」中島分院に勤務した。その後、1897（明治30）年に「洋々医館」中島分院を譲り受け、江東醫院を開業した。昭和に入り醫院名称を志賀醫院に改称した。醫院の所在地（碧海郡六ツ美村大字中島字上町下の切2番地）は中島領主であった徳川家の旗本、小笠原氏の中島代官所跡である。

1938（昭和13）年1月には市三郎氏の長男、志賀都一氏（1934（昭和9）年東北帝国大学医学部卒）が志賀醫院を継承した。現在（3代目）の医院長である志賀捷浩（かつひろ）氏は1942（昭和17年）生まれで、順天堂大学医学部消化器内科助手を経て、1974（昭和49）年に志賀醫院を継承した。日本内科学会認定医。岡崎市医師会会長、愛知県医師会副会長を歴任し、2013（平成25）年春の叙勲で旭日双光章を授与された。特定非営利活動法人 健康情報処理センターあいち理事長。志賀醫院は内科・小児科系疾患全般を対象としているが、開業医の原点は在宅医療であり、人と人との信頼の繋がりが、より良い医療環境を醸成すると考えており、それをいかに現実のものとするかに意を注いでいる。



志賀医院 20150902



創業当時の醫院入口



創業当時の醫院

・光揺眼科院（鍋田眼科医院）

〔所在地〕 岡崎市中島町字本町 20

〔診療科〕 眼科

〔開業年〕 1909（明治 42）年

鍋田眼科医院は古くからこの中島で開業しており、地域に根付いた医療を目指し、また常に最新の医療技術や機械を導入して、安心して診察や手術を受けられる環境を整えている。鍋田眼科医院の歴史は1909（明治42）年までさかのぼり、現院長までで、鍋田駿哉、正、裕司と3代になる。

建物も先々代より引き継いだ歴史ある建物と近代的な建物を融合した診療施設となっている。医療設備として特に気を使っているのは常に安全であり、また最新の医療であるということである。医療技術や機械は常に進化しているが、機械だけでなく院長自身、スタッフも含め時代の情勢にあわせた医療体制を作っている。2012（平成24）年11月に厚生労働省の先進医療の認可を取得し多焦点眼内レンズを用いた手術も行っている。



創業者 鍋田駿哉



創業当時の玄関



現在の玄関 20150902



鍋田眼科医院 20150902

現在の医院長である鍋田裕司氏は1981（昭和56）年 藤田保健衛生大学眼科へ入局し、1988（昭和63）年 藤田保健衛生大学大学院を卒業した。1989（平成元）年 名城病院眼科医長として勤務し、1990（平成2）年 豊川市民病院眼科部長として勤務後、1991（平成3）年実家の鍋田眼科医院を継承した。

本項は以下の資料を引用している。

〔悠紀斎田中島案内〕

編集人 牧 善丸、早川 治三郎

発行人 牧 善丸

印刷者 中村 角馬

発行日 1915（大正 4）年 6 月 5 日

発売元 牧 つね、早川 芳太郎

